

実効性のある地域の足づくりを目指して～行政担当者への期待

関東運輸局地域公共交通マイスター（初代） 為国 孝敏



博士(工学) NPO法人まちづくり支援センター 代表理事
株式会社T. O. パートナース 代表取締役筆頭代表
総務省 地域力創造アドバイザー
シティプロモーション自治体等連絡協議会 人材派遣専門家登録者
高崎商科大学商学部・短期大学部、宇都宮大学工学部 非常勤講師
連絡先:tame@pnc.gr.jp

1959年北海道網走郡津別町生まれ。1983年日本大学大学院理工学研究科(交通土木工学専攻)修了。社団法人土木学会、栃木県内の大学教授を経て、2006年10月にまちづくりNPO(足利市)を主宰。2016年4月に交通コンサルティング会社(東京都)を設立。栃木県足利市在住。全国各地で、地域公共交通、地域ブランド・シティプロモーション、観光やまちなか活性化、都市計画等のまちづくり活動に関する企画・計画づくりのコーディネーター、人材育成・研修・創業塾の講師や、各種の講演など、幅広く実践活動に携わる。

【地域公共交通会議・協議会への参加】(30年度)

茨城県桜川市(副会長)、茨城県稲敷市(委員)、北海道釧路町(アドバイザー)、群馬県太田市(アドバイザー)
茨城県・県南地域公共交通確保対策協議会(会長)、鹿行地域公共交通確保対策協議会(会長)

【地域公共交通に関わる計画への参加】

総合連携計画:佐野市(指導、H24年度国土交通大臣表彰)
網形成計画:策定業務・桜川市、稲敷市、太田市、釧路町、千葉県木更津市
立地適正化計画:策定業務・太田市
再編実施計画:策定業務・千葉県南房総市、稲敷市(調査終了)、桜川市
公共交通ワークショップのコーディネーター:佐野市、稲敷市、釧路町

【公共交通アドバイザー業務の受託】 桜川市、北海道津別町、太田市

【地域公共交通に関わる相談】茨城県行方市(再編実施計画)、群馬県館林市(網形成計画)、北海道紋別市(網形成計画推進事業)

【地域公共交通に関わる講演・セミナー・人材育成等の参加】

関東運輸局、千葉運輸支局、北海道運輸局、北見運輸支局、国土交通大学校、茨城県、栃木県、群馬県、佐野市、桜川市、稲敷市、南房総市、太田市、千葉県八千代市、釧路町、津別町、紋別市、神奈川県秦野市、全国市議会議長会、太田市議会、北海道バス協会、他多数

地域公共交通に関する
主な活動実績(30年度)

関わっている地域の足づくりでの工夫など～地域と移動手段のマッチングへの模索

茨城県桜川市（網形成計画（2年間）、再編実施計画（実行計画、未認定）、アドバイザー）

- 全域フルデマンド方式乗り合いタクシーから、市民の移動性向を踏まえて路線型バスネットワークへ
- 基幹となる路線バス「ヤマザクラGO」は、29便運行（約30分間隔）、利用者数10人弱／便
- 市長、庁内関係部局、市内交通事業者、市議会等と複数回意見交換を実施、情報共有を図る
- 地域住民と意見交換をしながら、一緒に支線（コミバス）の開設を準備中（コーディネート）

茨城県稲敷市（網形成計画、再編実施に向けた調査）

- 市内の6社15路線の再編検討も、既存路線や民間スクールバスとの調整や、市民との情報共有が進まずに計画策定
- 県庁とコラボで稲敷エリア広域バスの実験運行を機に各種調整を進め、エリアを絞って新しい公共交通システムの検討に向けて住民と意見交換を実施中（コーディネート）

群馬県太田市（網形成計画、立地適正化計画、アドバイザー）

- 民間の自主運行バス3路線、市営バス3路線、隣接自治体から広域バス3路線、全域でセミデマンド方式バスから、立地適正化計画と連携しながら、市民の移動支援の骨格形成となる網形成計画を策定（群馬県初）
- 市内交通事業者、高校、病院、商業施設、企業、隣接自治体等との意見交換・ヒアリングを重視
- 計画策定後にスクールバス活用の指示。先行して無料のコミバス運行中。沿線地域との意見交換、網形成計画の変更を準備中。市議会特別委員会とも意見交換し意識を共有

北海道釧路町（網形成計画、アドバイザー）

- 計画策定前、2年間にわたり、公共交通に関する講演、住民ワークショップを実施し、網形成計画の方向性を定める
- 計画策定時は、町内全6地区で意見交換会、中学校・高校、交通事業者、社会福祉法人、商業施設、関係部局へのヒアリング等
- 公共交通だけではなく、町民の移動に係る公費負担（福祉、スクールバス）実績から、庁内での危機感共有

千葉県木更津市（網形成計画）

- 市内全19地区で意見交換会を実施。15地区に参加して意見交換をコーディネート。地区ごとの移動性向を把握。
- 次年度に、方向性が共有されている地区にて、地域にあった移動手段と仕組みを構築し実証へ（アドバイザー予定）

北海道津別町（アドバイザー）

- 過疎地のため、無料のスクール混乗路線と、ハイヤー会社1社（保有車両2台）、及び生活圏である北見市、美幌町への民間路線バス（公費負担）のみ。
- 3地区および老人クラブで意見交換会。小中学校、交通事業者、社協、社会福祉法人、振興公社、病院、商工会、町議会、庁内関係部局へのヒアリング・情報交換を実施して、町民みんなで創り育てる地域の足づくりに取り組み中。
- プロジェクトを進捗させる一つの手段として、網形成計画の作成も視野にしている（計画ありきではない）

地域の足づくりは、地域ごとに異なります。正解（模範解答）はありません！

地域の足を地域住民の皆さんと一緒に考える取り組みを各地で進めています！

津別町共和第二自治会



住民等ヒアリング

北海道津別町（H30年度）
網形成計画策定を前提とせず、現状と課題の抽出のため、3自治会、老人クラブ、交通事業者、病院、社会福祉協議会、振興公社等へのヒアリングを実施。町民向け講演会で中間報告と方向性の提案。町長以下、福祉部局をはじめ役場内での意識・情報共有、議会、商工会等と情報共有。町の将来像の具現化の手段として網形成計画策定も視野。

茨城県稲敷市（H30年度）
地区を絞り、既存の路線バスに変わる新公共交通システムについて、事業者も交えて検討

群馬県太田市（30年度）
立地適正化計画策定時のヒアリングに続いて、市営無料路線バスについて情報共有と、乗っていただくための利用促進策を検討

住民意見交換会

千葉県木更津市では、H29年度、網形成の策定に向けて、区長会・まちづくり協議会19地区、及びNPO運送事業者で意見交換会を実施

地域の状況を教えてください！

北海道釧路町では、H27年度より町民とのWSを実施、H29年度は網形成の策定に向けて、町内6地区住民、交通事業者4社、社会福祉法人、商業施設等でヒアリング、意見交換会を実施

八幡台地区



祇園地区



昆布森東地区



別保地区



地域公共交通網形成計画 策定状況

■ 改正地域公共交通活性化再生法の施行(2014年11月)以降、2018年9月末までに、**431件**の地域公共交通網形成計画が策定され、**28件**の地域公共交通再編実施計画が国土交通大臣により認定

茨城県 (25件)	水戸市	栃木県 (13件)	真岡市	埼玉県 (15件)	熊谷市	千葉県 (13件)	東金市
	日立市		大田原市		春日部市		鴨川市
	下妻市		鹿沼市		上尾市		君津市
	常陸太田市		日光市		越谷市		八街市
	かすみがうら市		宇都宮市・芳賀町		入間市		南房総市
	神栖市		佐野市		草加市		佐倉市
	行方市		那須塩原市		三郷市		大網白里市
	牛久市		那須塩原市、大田原市、那須町、那珂川町		飯能市		白井市
	稲敷市		塩谷町		ときがわ町		旭市
	土浦市		益子町		小川町		木更津市
	龍ヶ崎市		那須町		鳩山町		富津市
	潮来市		茂木町		吉見町		長南町
	つくば市		上三川町		寄居町		大多喜町
	鹿嶋市	群馬県 (2件)	川島町		東京都 (2件)	東京都・中央区・港区・江東区	
	桜川市		太田市			多摩市	
	筑西市	前橋市	東秩父村	神奈川県 (6件)	藤沢市		
	高萩市				海老名市		
	ひたちなか市				大和市		
	常陸大宮市				伊勢原市		
	つくばみらい市				真鶴町		
	守谷市				湯河原町		
	五霞町			山梨県 (3件)	甲州市		
	城里町				北杜市		
	大子町				上野原市		
	東海村						

再編実施計画について

- ・既に認定を受けた団体: **桃色**
- ・策定意向のある団体: **クリーム色**

関東運輸局管内でも、既に多くの自治体等(79件)で網形成計画が策定されています!

(参照 <http://www.mlit.go.jp/common/001257441.pdf>)

網形成計画・再編実施計画～計画づくりが目的化してませんか？

地域公共交通は、地域ごとに(自治体ごとに)異なります～各地の経験から

【実効性のある計画づくりに向けて、ご検討いただきたいこと】

- ① 「作成のための手引き」は、一つの“モノサシ”です。あくまで計画づくりの参考として示されています ⇒理想像ではなく、地域にあったプランを意識
- ② 交通は地域の基盤ですので、行政がプラットフォーム、コンサルはパートナーです ⇒地域戦略づくりですので、丸投げはしない
- ③ 交通は人の移動ですので、福祉や教育のほか、域内全ての移動手段と情報共有が必要です ⇒移動手段ごとの役割分担を図って効率化
- ④ 公有施設最適化、学校統廃合、立地適正化など、まちづくりの将来像との連携が必要です ⇒収益性の確保を図って、持続可能なネットワーク形成
- ⑤ 市民、事業所、交通事業者、関係団体など、協働のための意識と情報の共有が必要です ⇒みんなを巻き込むことで公共交通もあるライフスタイルを定着

人口減少社会の中で、いま、求められているのは？

地域住民、交通事業者、行政が、地域の課題を共有し、地域のあるべき姿(将来像)について、同じ土俵(協議会等)で話し合うとともに、地域の足づくりについて、それぞれ期待される役割と責任を明確にして、地域の実情に応じた公共交通のあるべき姿を目指して努力していくこととなります。

この実現化していく“約束事”をまとめたものが、地域公共交通網形成計画となります。ただし、計画づくりはきっかけであり、地域の課題解決に向けた手段の一つと認識して上手に活用しましょう！

網形成計画づくりで求められる 地域公共交通に係る問題の解決の方向性

基本的考え方

民間事業者の事業運営にともすれば任せきりであった従来の枠組みからの脱却

地域公共交通の再定義

- ▶ 地域の総合行政を担う地方公共団体が先頭に立って
- ▶ 関係者の合意の下で
- ▶ まちづくりと一体で
持続可能な地域公共交通ネットワーク・サービスを再構築

交通政策基本
法の基本原則に
則って！

ポイント

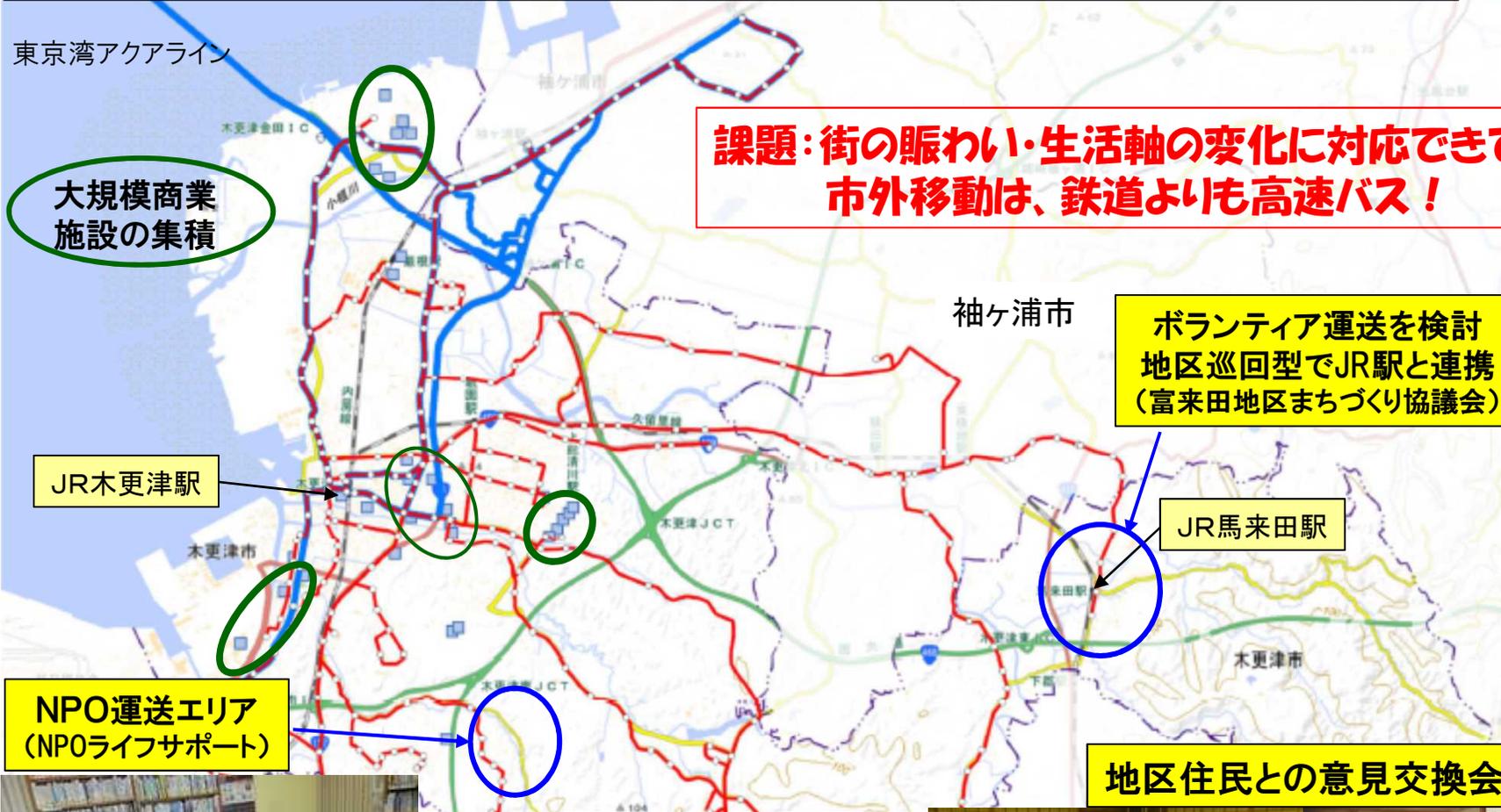
- ① まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保
- ② 地域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成
- ③ 地域特性に応じた多様な交通サービスの組み合わせ
- ④ 広域性の確保
- ⑤ 住民の協力を含む関係者の連携
- ⑥ 具体的で可能な限り数値化した目標設定

策定する網形成
計画で留意する
ポイントです！

コミュニティバス、LRT等を導入しただけで問題が解決するわけではない！
(手段を目的化しないことが重要。)

木更津市の路線バスは、JR木更津駅集中・放射型のネットワークを形成してきており、鉄道利用の通学(高校生)・通勤に利用されている。一方、高齢者等、市民の生活基盤(買物・病院)は駅周辺ではなく、別の場所に集積している商業施設や病院施設であるが、そこへの移動は駅での乗り換えが必要になる。すなわち、市民の生活実態とバス路線網にかい離が生じている。(地区別住民意見交換会を通して分かったこと)

- 凡例
- 大規模小売店舗
 - 路線バス
 - 高速バス
 - バス停



皆さんは、地域の足について、どんなことにお困りですか？（問題意識）

例えば、こんな感じでしょうか？

市民の皆さん

- 乗りたくても手段がない
- 免許返納したいが足がない
- バスはあっても本数が足りない
- バスはあっても行きたいときにない

行政の皆さん

- バスはあるがカラで走っている
- バスを走らせたいがお金がない
- 運行してくれる事業者がない

事業者の皆さん

- 運転手、車両が足りない
- 補助がないと赤字になる

では、どうしたいですか？どうなったらいいですか？（目標設定）

例えば、こんな感じでしょうか？

市民の皆さん

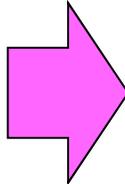
- 乗りたいときに足が欲しい

行政の皆さん

- 公共交通に乗って欲しい

事業者の皆さん

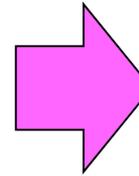
- 地域に貢献したい
- 地域の足を担いたい

- 
- ◆ **みんなで協働して、地域の足を支えましょう！**
 - ◆ **公共交通を維持しましょう！**

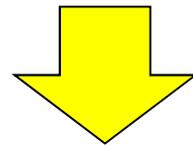
そのためには・・・₈

どうなっているのか、振り返って調べてみましょう！（現状把握）

- 困っている人はどこにいるのか？
- どの時間にどこにいきたいのか？
- いまあるバスは何が問題なのか？
- 行政はどれぐらいまでお金をだせるのか？
- 住民はいくらまでならお金をだせるか？
- 財源が厳しくても市民が喜びさえすればいいのか？
- たくさんの人に乘って欲しいのか？ 等々



**本音で語り合きましょう！
まちづくりの方向性が見えてくるかも**



つづく…実効性のある計画作成の道筋

- 行政の皆さんは、まちづくりのプロです！
- **計画づくりをする前に、まず取っ掛かりとして、住民の移動について、まちが置かれている状況を整理してみることをお勧めします！**
- 次に、上述したような、分かりやすく単純な道筋、シナリオをラフでも良いのでイメージしてみてもいいでしょうか！
- 地域の足づくりのメニュー（手段・方法）は、各地で数多く実践されています。
- また、切羽詰まったところでは、地域の知恵で解決しようとさえしています。
- **大切なのは、地域にあった持続可能な足づくりを探すことです（マッチング）！**
- そして、実験（実証運行）に取り掛かってみましょう！
- 数多くの知識と経験を有する専門家との意見交換も大切にして下さい！

高齢者の移動目的は買物と通院と言われますが？

商工会が皆さんの
買い物のお手伝い **買い物代行**

買い物たのまれ屋
あなたに代わって
電話一本で1品から
お買い物致します！

安心 便利

お電話までの流れ
利用したい商品を決め
TEL 464-1770
※お電話受付時間です

配達員をお迎えし
お電話でお話し
商品をお渡しします

ご注文金額 464-1770
※お電話受付時間です

お届け/配達 (代金引当)
※お電話でお話し
商品をお渡しします

お電話受付時間 9:30~11:30
13:00~17:00
月曜日~土曜日
お電話受付時間

買い物たのまれ屋 TEL(076)464-1770

※お電話受付時間
※お電話受付時間

【社会福祉法人甲良町社会福祉協議会高齢者買物支援事業】

無料

買物送迎サービスのご案内

甲良町社会福祉協議会では高齢者の方を対象に毎週水曜日に買物送迎サービスを行っています。このサービスは買物に自由に行けない方を対象としご自身で買物を楽しんで頂く事を目的に買物支援ボランティア及び赤十字奉仕団の方の協力のもと実施しています。お気軽にお申し込みお問合せください。

- 利用対象者**
甲良町内在住の75歳以上で一人で買物が可能な方
※介助を必要とする方はご利用いただけませんのでご了承ください。
- 利用日時**
毎週水曜日 14:00~1時程度 (祝日は除く)
第1・3・5週→フレンドマート薬荘店・コメリ
第2・4週→丸善Kモール店・ドラッグユタカ
※利用料は無料です。
※自宅~お店までの送迎と上記以外の立ち寄りではできません。
- 利用にあたって**
●事前に利用登録が必要となりますので下記事務局までお気軽にお問い合わせください。ご自宅まで申込み書類をお届かせて頂きます。
●利用される前日までに予約が必要となります。なお、当日の予約状況によりお受けできない場合や時間が前後する場合がありますのでご了承ください。

◀買物送迎に関するお問い合わせ▶
社会福祉法人甲良町社会福祉協議会
甲良町在士357-1保健福祉センター2F
TEL 38-4667 FAX 38-4668
ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/132/>

この家、ええね美馬地域ビジネス推進協会は、美馬市にお住まいの方に向けて、お買物の代行サービスを始めました。

食品から日用品まで
美馬市の皆様に「便利」と「安心」をお届けします。

みま買物サービス スタートしました。

以下のような事でお悩みの方、ぜひご利用ください！

- 大きな荷物や重い商品など持って帰るのが大変。
- 買物へ行くのに交通費など大きな負担になる。
- 体調不良の為、買物へ行けない。
- 共働きなどで、買物の時間がない。
- 育児中、妊娠中の方など。

宅配手数料1品目 **200円**
宅配エリアは福山・美馬市・穴吹町

みま買物サービスの流れ

①代金のお支払い ②商品ご注文
③配達依頼 ④SHOP 加盟店

お客様

宅配便会社 ヤマト運輸

加盟店 ティー・マート 加盟店

●お買い上げ代金2,000円(税込)以上からのご利用となります。
●宅配手数料は1品につき200円(宅配エリアは福山・美馬市・穴吹町)です。
●冷蔵・冷凍品も配達できます。(クール代200円(税別)が別途必要)
●注文時間は午前8時~10時です。
●注文当日(午後)に配達します。
●配達員が配達にお伺いする前に、電話連絡させていただきます。
●代金は商品をお届けの際、代金引換となります。
●ご利用の際は事前に基本情報をご確認ください。
ええね美馬地域ビジネス推進協会 事務局
〒771-0201 美馬市美馬町1-1-1 TEL.0883-63-5120 FAX.0883-63-5130

地域の足が無いために生じた、様々な買い物支援サービス・取組み

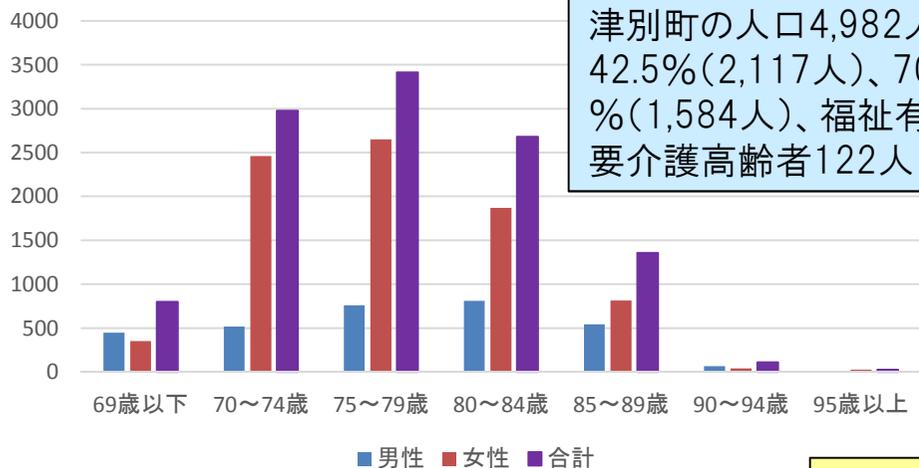


高齢者の移動目的は買物と通院と言われますが？

通院は、月に1度という方が増えてきています(各地のヒアリング結果より)
日常的には、予防医療や地域で支えるケアシステムが進んできています。

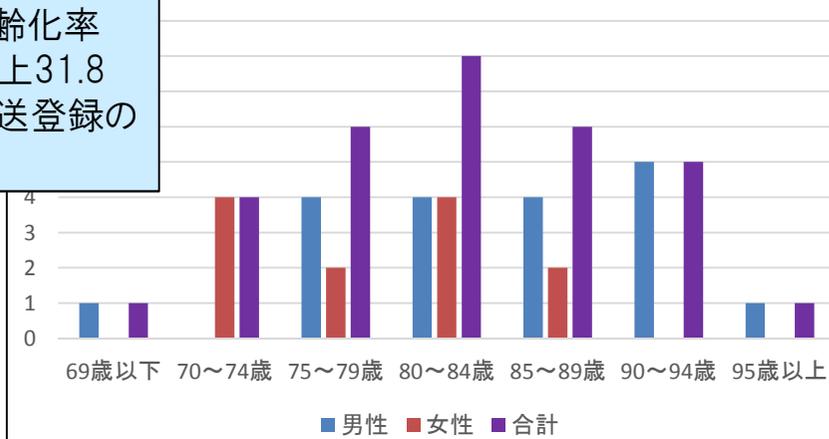


平成29年度津別町バス無料乗車券利用実績



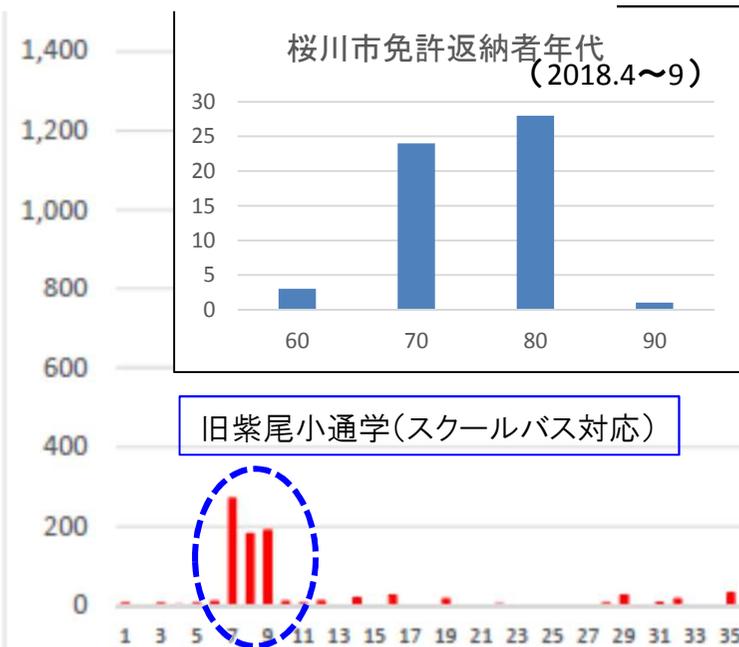
津別町の人口4,982人、高齢化率42.5%(2,117人)、70歳以上31.8%(1,584人)、福祉有償運送登録の要介護高齢者122人

津別町の免許返納者年代H30.4～9



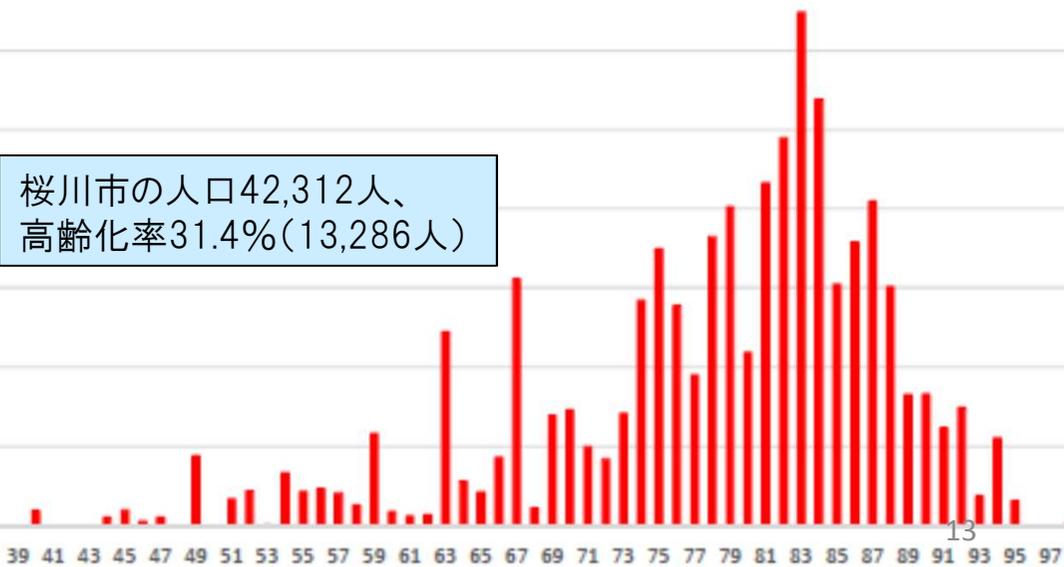
高齢者の移動意欲と免許返納との関係を試しに見てみました。公共交通と福祉対応とのすみ分けと役割分担が見えてきそうです。自治体ごとに(地域ごとに)こうしたデータを見ること、データで裏付けすることは、公共交通のターゲットとメニューの絞り込みに有効な方法の一つだと思います。

平成28年度桜川市デマンドタクシー予約実績 (2016.4.1～2017.3.31)



旧紫尾小通学(スクールバス対応)

桜川市の人口42,312人、高齢化率31.4%(13,286人)



例えば、某町の移動・交通施策を全て調べてみました

所管	事業名	内容等
公共交通部局	地方バス路線運行維持対策事業	運行事業者への補助
	乗合自動車借上利用事業	運行事業者への借上料
福祉関係部局	高齢者交通費等助成事業	券の交付、運行事業者への支払
	通所型介護予防事業	運行事業者への委託
	介護予防・日常生活支援総合事業	
	障がい者交通費等助成事業	券の交付、運行事業者への支払
	就労支援事業等通所支援事業	対象者への補助
	地域生活支援事業(移動支援事業)	契約事業者への委託
	社協運営費助成事業(福祉バス運行委託)	社会福祉協議会への補助⇒運行委託
教育関係部局	スクールバス委託事業	運行事業者への委託
	行事バス委託事業(小学校)	運行事業者への借上料
	行事バス委託事業(中学校)	運行事業者への借上料
	某小学校スクールバス運行事業	町所有バスによる運行
	某小学校スクールバス購入事業	町所有バスの購入

某町では、公共交通部局だけでみると約2,000万円/年ですが、全体の総額では9,000万円を越える公的資金が充当されています。この金額が多いか少ないかは自治体によって異なりますが、まちづくり全体で見えていかないと気付いた時には手遅れになる可能性があります。

少子化が進む中で社会問題化しているのは？ 学校の統廃合によるスクールバスの増加

スクールバス 学校統合を先導 茨城の新設小、登下校に18台

少子化に伴って学校の児童生徒が減り続ける中、茨城県行方市はスクールバスを積極的に活用し、小中学校の抜本的な統廃合に踏み切った。6校を1校に集約した校区では、登下校の子供たちを乗せて18台ものバスが巡る。廃校への地域の反発、運行費用の確保などのハードルはあるものの、バス通学の光景は今後、各地に広がりそうだ。(日経新聞 2015.5.27)



(茨城新聞)

行方市は茨城県東南部にあり、霞ヶ浦と北浦に挟まれた位置で、平成17年に行方郡の3町で合併、面積166.33km²、人口35,812人。学校統廃合により、全市でスクールバスを45台運行、経費は3億円弱

少子化の進展に伴い、各地で小中学校の統廃合が進められています。それに伴い、通学距離が遠くなる子供たちのために、スクールバスが運行されています。

このスクールバスは学校の登下校の時間のみ運行しておりますので、待機時間（空いている時間）が当然あります。

一方、スクールバスが多くなってきたことにより、運行経費が増大し、自治体の財政を圧迫するようになってきました。

そこで、この空いている時間にコミュニティバス等の地域の足として活用しようとする取り組みが進められています。



太田市直営の無料コミュニティバスとして、

- 運行は平日の6:30から20:30まで、2路線(西バス3系統、東バス1系統)
- 西バスは50便、東バスは38便、運行しているものの、
- 利用者は合わせて1日200人に満たない

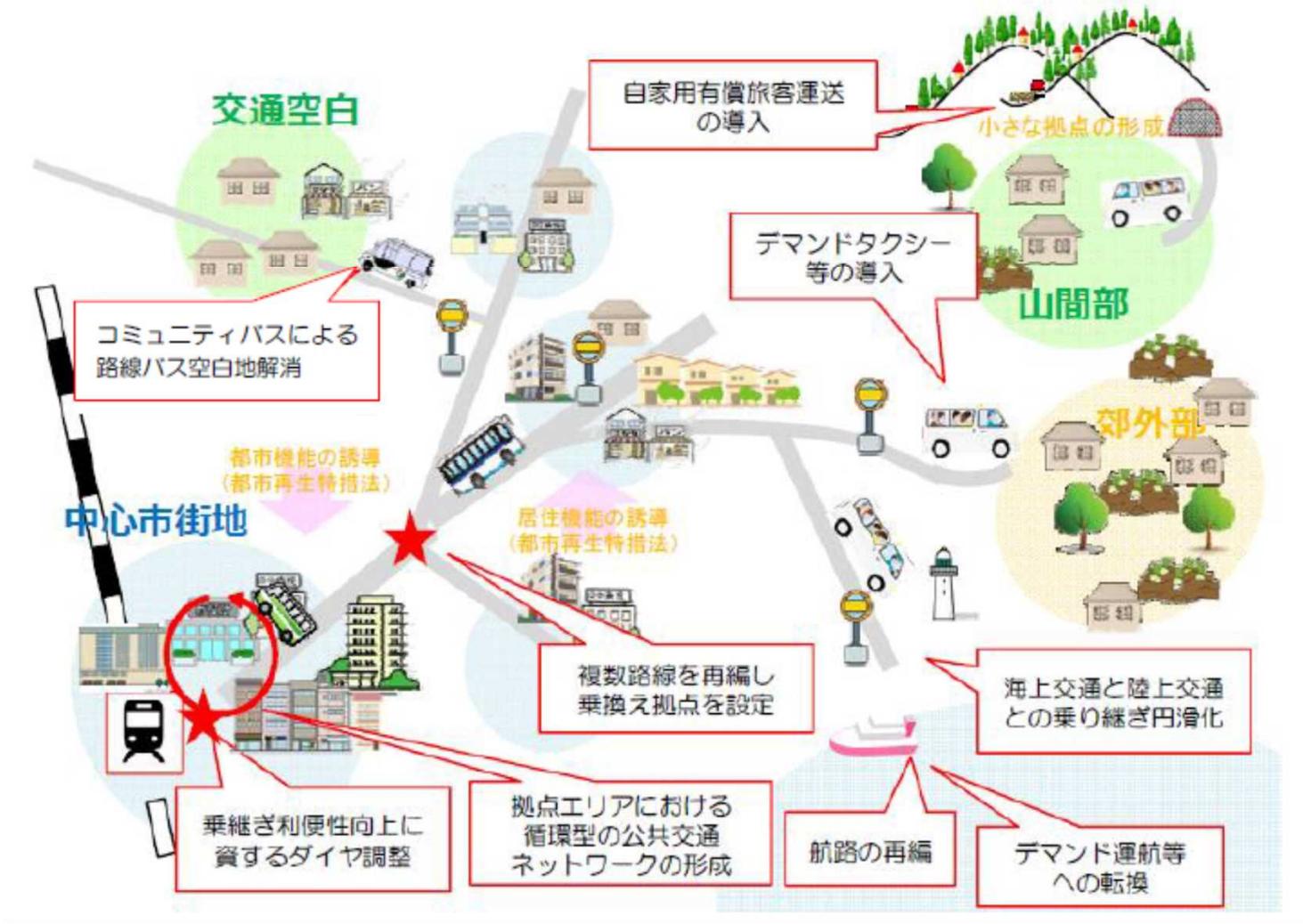


その原因は、
車両の有効活用ありきで、十分な準備期間もなく運行を開始したため、

- 鉄道や路線バスのダイヤとのすり合わせが不十分
- 地域住民や地域の交通事業者との協議が不十分
- 等々

地域公共交通の手段を、路線バスだけで考えていませんか？

【参考】地域公共交通再編事業の活用イメージ



特に人口の少ない地域の足を確保するために、1)福祉目的輸送を目的外(買物等)も可能に、2)ボランティア輸送の位置づけ、など地域の実情に合わせて具体的に検討されています。

桜川市バス「ヤマザクラGO」
～バス需要を創り出す～

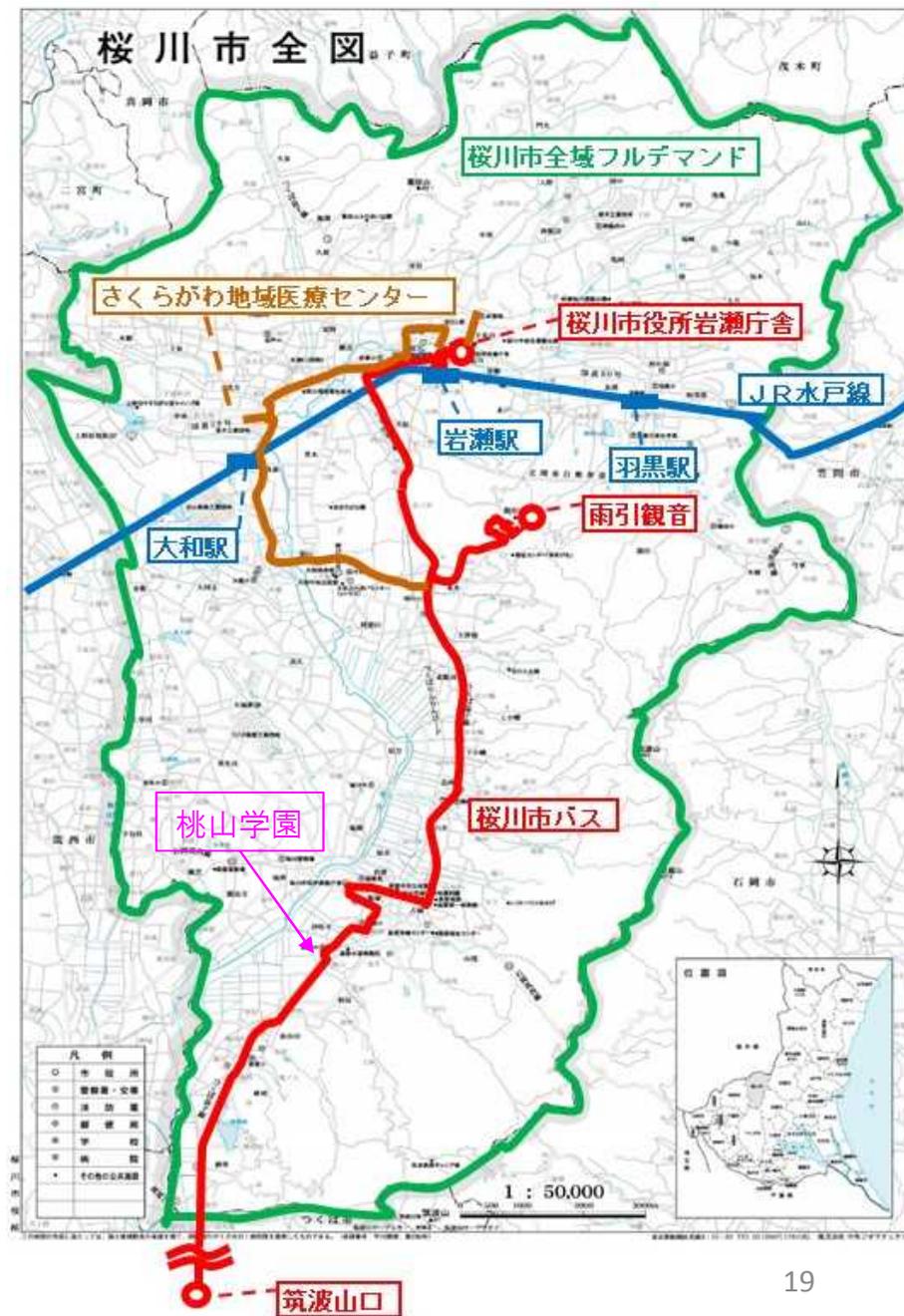


路線バスで通学する子どもたち



市民からの寄付を使って整備した、バス停の待合所

桜川市の公共交通網(平成30年11月現在)



桜川市バス「ヤマザクラGO」利用促進の取り組み（一部）
～乗ってみたいバスを創る～

バスアナウンスは人気声優・櫻川めぐさん
(桜川市出身。さくらがわ応援大使)担当



市内の小中高・専門・大学生が利用できる
特別定期券の発行(月額4,000円)



バスラッピング



高齢者への利用促進グッズ
「気軽にバスでお出かけシート」



利用促進の取組例（桜川市）～選ばれるバスを目指して～



①運行ルートとダイヤ

1. ターゲットを明確にした運行ルートとダイヤの編成

【平日】

【土休日】

- (1)小学生の**通学** (1)**観光**（土休日のみ雨引観音経由便運行）
- (2)高校生の**通学** (2)高校生の通学
- (3)通院

2. 利用実態に応じた運行ルートとダイヤの改正

- (1)平成29年10月1日改正（本格運行） (2)平成29年12月1日改正 (3)平成30年4月1日改正 (4)平成30年6月1日改正 (5)平成30年10月1日改正（運行ルート追加）

②バスアナウンス

バスアナウンスを**櫻川めぐさん**（桜川市出身。声優。さくらがわ応援大使）が担当

③ヤマザクラパス

子育て支援の充実と次世代を担う人材の育成を目的に、特別割引定期券『**ヤマザクラパス**』を発行。

④高齢者への利用促進グッズ配布

高齢者の集まり（輪投げ大会等）の際に、「**気軽にバスでお出かけシート**」を配布。

⑤バスラッピング

桜川市バスの利便性向上と地域での愛着醸成を目的にバスラッピングを実施

⑥バス待ち環境整備

市民からの寄付を使って、小学生が登下校に利用するバス停の待合所を整備

⑦その他の取組み

- (1)バスの愛称募集 『**ヤマザクラGO**』に決定！
- (2)小学生バス乗車体験教室 (3)小中学生へのお試し乗車券配布
- (4)総合交通マップ作成 (5)転入や免許証更新の際にバスチラシ配布
- (6)車ときどきバス運動 (7)雨引観音よりバス利用者へ記念品プレゼント (8)ICカード導入

地域に選ばれるバス、皆さんが乗ってみたいバス、市民に愛されるバス、地域ごとの知恵と工夫でトライアンドエラー、取り組みはまだまだ続きます！ 21

さらなる一手へ（桜川市）
 ～地域に合った移動手段を目指して、
 網形成計画での提案施策を着実に進め
 ています～

買物難民調査の概要

(1)生活環境現況調査

人口・世帯分布等の基礎的状況の整理と、公共交通、買い物、医療、金融サービス等の生活施設立地の実態把握。

(2)住民意識調査

a)アンケート調査

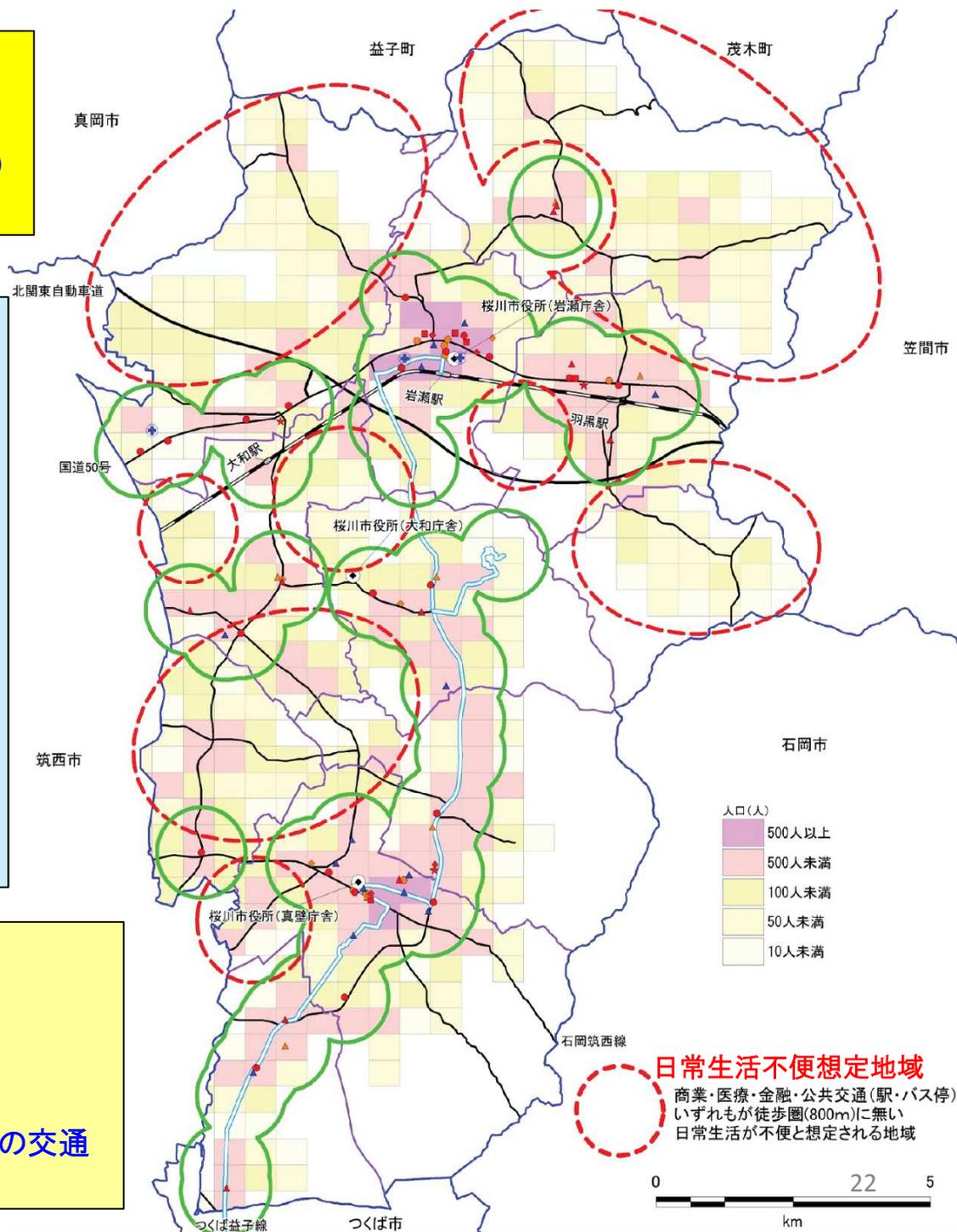
公共交通の利用が想定される交通弱者・買い物弱者と考えられる高校生のいる世帯又は65歳以上の高齢者のいる世帯を対象に日常生活の状況把握。

b)ヒアリング調査

日常生活が不便と想定される地域を選定し、ヒアリング調査を実施中。

【準備・検討・研究中】

- 地域と移動手段のマッチング
- 自家用有償旅客輸送の検討
- スクールバスから路線バスへ
- 商業施設や市の活力施策とのリンケージ
- 将来を見据えた行政部局間の連携～市内の交通全体を一つの問題として取り組む



啓発キャンペーンチラシ

茨城県庁と一緒に進めています！



大事なメールに返信 SNSをチェック

！みたかった本ひとりになれる時間

空を見上げ 車窓を眺め 季節を感じる

思わぬ人 ばったりの 出会い

移動時間で 睡眠不足を 解消

クルマときどきバスにより、
時間の有効活用で
新たな発見があります

たまにバスに乗ることで
未来のバスの維持につながります。
「ライフスタイルを少し変えることで好循環のスパイラル」

茨城県公共交通活性化会議事務局 (茨城県企画部交通政策課内)
〒310-8555 水戸市笠原町 978 番 6 TEL 029-301-2604 FAX 029-301-2608

公共交通を県民みんなで支えましょう！！

！ 地域の大切な資源であるバスの維持が難しい状況に！！

行政の赤字補填によりバスの運行サービスをある程度維持していますが、それにも限界があります。
このままでは地域のバスが消滅してしまう可能性があります。
県民のみなさんの協力なくしては、地域の公共交通の維持及び充実は実現できません！！



負のスパイラルにより公共交通利用者が更に減少

クルマときどきバスで外出してみませんか？

たまにバスに乗ることで未来のバスの維持につながります
「ライフスタイルを少し変えることで好循環のスパイラル」



例えば・・・

- ・人口4万人の都市
- ・バス運賃が200円の場合
- ・市民全員が年に1回バスに乗ると、

4万人×400円(往復)=1,600万円

バス事業者の経営改善、バス運行サービス水準の向上につながります。

インスタ映え



長崎県諫早市
フルーツバス停

乗りたくなるバスを目指して
～バス停・待合所～

バス待ち環境の整備、各地で色々な取り組みが始まっています！



とさでん交通 高知市長浜バス待合所



ととろのバス停
大分県佐伯市



コンビニとバス停(鹿児島県)



イオン脇のバス停(釧路町)



病院とバス停(江別市)



スーパーとバス停(山交バス 尾花沢)

待合環境の充実：商業施設をバス待合室にし、バスロケモニターを設置

北海道運輸局モデル

●バスの運行状況を示すデジタルサイネージの設置の様子



イオンモール旭川駅前



コープさっぽろ（4条通り店）



バス待ちOKステッカー



ツルハドラッグ
(旭川買物公園通店)



セイコーマート（神居6条店）

太田市の市営無料バスでは、ローソンの駐車場内にバス停を設けています！
また、沿線の病院や温浴施設には、施設の玄関先までバスが入っていきます。
地域の協力をいただくことが大切です。

平成28年度・北海道運輸局実証実験

北海道運輸局より提供

「北海道運輸局管内における他業種と連携した公共交通の活性化手法の調査等業務報告書概要版」H29.3より

網形成計画の現場で感じたこと～まとめに代えて

- **網形成計画は、計画を作ることが目的ではない！**
- **策定過程を通じて、地域の課題と直接向き合い、解決の糸口を考え、実践する道筋をつける！**
- **網形成計画の策定は一つのきっかけに過ぎず、目的は他のところにある！**
- **地域公共交通（地域の足づくり）は、人の移動を促すことで地域の活力を生み出し、地域の活性化を図り、地域の魅力を高めるための基盤づくりかもしれない！**

昨年、ある地区にて住民の皆さんと意見交換を行った。この地区では身近にあったコンビニがなくなり、買物をするのに6キロ離れた大型スーパーまで出かけなくてはならない。さぞや毎日の買い物にお困りのこととお話を伺うと、「いやあ、何にも困っていない。コンビニがなくなってから移動販売車が来るので日常は困っていないが、月に一度は自分で買い物に行きたいな」。「では、通院は」と尋ねると「病院にはハイヤーを使うから問題ないよ」とのことだった。

地域の実情も知らずに「地域公共交通はこうあるべき」として、型にはまったような地域公共交通のメニュー（手段・方法）を押し付けようとしていないか、同じような条件でも、場所が変われば住民の意識も異なる。調査データだけでは推し量れない現場の声に耳を傾ける大切さを再認識させられた。

人口希薄地区で地域の足を確保しようとするときに、最近では地域住民が主体となった公共交通を導入する動きが広まってきている。とはいえ、まだまだ行政が中心となって公共交通サービスの確保に努めているところが多いことだろう。その場合、公的負担を前提とした公共交通サービスが追求されるため、住民ニーズとのマッチングが懸念される。地域にあった持続可能な公共交通は何か、現場にその答えがあるような気がしている。

ご静聴ありがとうございました！



講話資料の作成にあたっては、関東運輸局の皆さんや地域公共交通マイスター仲間との意見交換、また北海道運輸局、茨城県庁、稲敷市、桜川市、太田市、鉦路町、津別町、木更津市の皆さんとの情報交換、および㈱サーベイリサーチセンター、日本データサービス㈱のご協力を得たことを感謝いたします。



「ゆるキャラ®グランプリ2013」第1位
佐野ブランドキャラクター「さのまる」仕掛け人です。
ちょっと古くなりましたが(苦笑)

解説・地域公共交通マイスターとは

地域公共交通マイスター制度は、地域公共交通の維持・利便性向上・活性化に向けて、地域が主体的に実践する先進的・独創的な取組みを中心となって推進し、知識、経験、熱意を有する方を関東運輸局長が「地域公共交通マイスター」として任命するもの。

任命された「地域公共交通マイスター」は、地域公共交通の諸課題について、より多くの地域が積極的に取り組む気運を高めるため、**自らの取組みから得た知識、経験、熱意を、あらゆる機会を利用して発信する役割を担う。**